

(問題2の続き)

問4 図1は伊勢湾湾口で採集されたヒヨクガイ *Cryptopecten vesiculosus* (Dunker, 1877)で、放射肋の相対的な高さ(100W/H)のヒストグラム(頻度分布図)に2型が見られることを示している。以下の設問(1)~(3)に答えよ。ただし、Wは肋の高さ、Hは殻の高さを表す。

- (1) 2名法とは何か。ヒヨクガイの学名を使って説明せよ。
- (2) 化石の集団標本に遺伝学的(生物学的)種の定義を当てはめるときに注意すべき点を2つ挙げよ。
- (3) ヒストグラムに2つの山が現れる原因として、同種内の多型(2型)のほかに2種の混合が考えられる。2種の混合の可能性を検討する方法を120字程度で説明せよ。

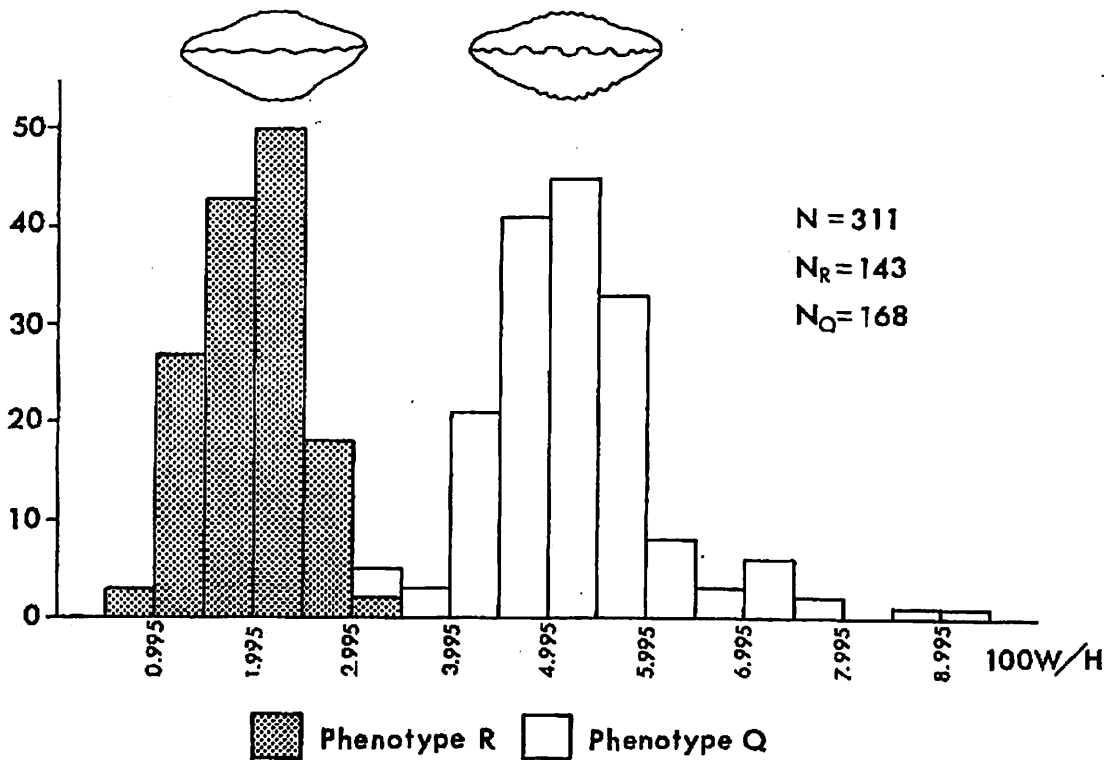


図1. 伊勢湾湾口で採集されたヒヨクガイ311個体に見られる肋の2型。
縦軸は個体数。W:肋の高さ、H:殻の高さ、Phenotype:表現型、
N:標本総数、 N_R :R型の個体数、 N_Q :Q型の個体数。
(Hayami, 1984)